



▲「友達」「挑戦」「感謝」を大切に

新緑が眩しい最高の気候となりました。一年の中で最も植物が「育つ」時期です。これから迎える梅雨と、その先にやってくる夏をひかえ、生命の息吹を感じるこの季節は、あらゆるものが「育つ」ための要素が、そこかしこに溢れています。

私たちも同様に、4月からの新しい環境での慌ただしさが徐々に落ち着いてきますと、少しずつ何かしらの「成長」が感じられるようになってくると思います。

子どもたちにとって、進学、進級で新しい友達や先生と出会い、慣れない環境での生活がようやく落ち着き始めるこの時期は、新しいことに挑戦する良いタイミングでもあります。ご家族にとっても、日一日と心と体が大きくなるお子さまを目の当たりにし、ご自身も共に成長されているのではないのでしょうか。まさに「教育」とは「共育」であると思います。

シニアの方々も様々な場面で「育つ」を感じられていると思います。4月26日、中央公民館でのことぶき大学の入学式に、出席させていただきました。そこで新しい「学び」と「出会い」を求め、さらに成長しようと挑戦されているお姿に、「生涯勉強、生涯青春」ということを改めて教えていただきました。

全国では、4月の統一地方選挙を経て、新たな首長や議会が誕生しています。播磨町においても、新しい議会がスタートしました。住民の皆さまの負託を受けたものとして、切磋琢磨し、成長していければと思います。

播磨町は今、協働を「育む」まちとして挑戦することで、ひとが、企業が、そしてまちが「育つ」よう、一丸となって頑張っています。

あらゆる「育ち」を支援しながら、共に育つまちづくりを目指します。それが、ひいては近隣市町を含めた播磨圏域全体の成長につながると信じ、まちづくりに邁進していきます。Growing Up Harima!

播磨町長 佐伯 謙作



## 保健師だより おはんきですか？ 歯周病予防のために定期的な歯科検診を ～30歳の歯周病検診をはじめます～

「8020運動」ということを聞いたことはありませんか？これは「80歳になっても自分の歯を20本以上保とう」という運動です。20本以上の歯があれば、食生活にほぼ満足することができると言われており、「生涯、自分の歯で食べる楽しみを味わえるように」という願いが込められています。

歯を失う原因の1位は「歯周病」です。歯周病とは、歯と歯ぐきの間にたまったプラーク（歯垢）にすみつく「歯周病菌」によって、歯ぐきに炎症が起る感染症です。重症化すると歯が抜け落ちてしまいます。さらに、歯周病菌や炎症物質が、歯ぐきの血管から血流によって全身をまわると、脳卒中・心筋梗塞・肺炎・糖尿病

の悪化など様々な病気を引き起こします。成人の80%が歯周病にかかっていると言われ、30歳代から歯周病率が増加し始めます。歯周病は自覚症状がほとんどありません。左のリストのような症状があれば、歯周病の可能性があるので、一度チェックしてみてください。

**あなたの歯周病をチェック**

- 朝起きた時に、口の中がネバネバする
- 歯磨きの時に出血する
- 硬いものが噛みにくい
- 口臭が気になる
- 歯肉がときどき腫れる
- 歯肉が下がって、歯と歯の間にすきまができてきた
- 歯がグラグラする

若い年代から定期的に歯科医療機関で検診を受け、歯周病の早期発見・早期治療をすることは、将来の健康維持やインプラントなどの高額な出費を防ぐことにつながります。

播磨町では40歳・50歳・60歳・70歳になる人に歯周病検診を無料で実施しています。令和5年度からは新たに30歳になる人にも無料で実施しますので、ぜひご利用ください。（対象者には受診券を送付しています）

お口の健康を保って、いつまでも食事やコミュニケーションを楽しみましょう。

問 健康福祉課健康係  
☎ 079-435-2611

## 楽屋裏

連休に、京都や大阪など近場の観光地に行ってみました。人が多くて、電車やバスでマスクをつけました。周りを見渡すと老若男女問わず、似たような感じでマスクをつけたり外したりしています。それでも、笑顔で記念撮影をしている人をたくさん見かけます。やっぱり観光地は混んでいるほうがいいです。そして、人々が笑っていて、その口元が見えるほうがうれしいです。

穏やかな日常が続きますように。

(宮)

## 蓮池幼稚園

いろいろなことに気付きながら  
幼稚園を楽しんでいます

幼稚園では子どもたちが毎日したい遊びを見付けながら元気に過ごしています。「一緒に遊ぼう！」と誘い合う声が聞こえ、保育室や園庭でいろいろな発見や気付きを楽しんでいます。

園庭では、「ダンゴムシいるかな？」と植木鉢の下を覗いたり、見つけたダンゴムシを手に乗せ、「歩く」とくすぐりたい！「みてみて！丸くなったよ！」と

感じたことをつぶやいたりしています。自分たちの知っていることや思いを伝え合ったり、図鑑を見て調べたりしながら季節の変化を楽しんでいます。見つけた虫を大切にすることで、優しい気持ちや考える気持ちも育つてほしいと思っています。これからも幼稚園でいろいろな遊びを見付けて遊んでいきたいですね。



▲図鑑でしらべたよ



▲ダンゴムシ、みつけたよ

## まちづくりアドバイザーの活動報告書が完成しました。

播磨町でまちづくりアドバイザーの制度が始まって3年が経ちました。これまでに自治会、サークル活動、コミセン活動などまちにかかわる様々な相談が寄せられました。令和4年度は、協働のまちづくり宣言が発出されたことがきっかけとなり、様々な場所で、話し合いや対話を重ねることができました。例えば、町長と語ろうオープンミーティングや地域福祉計画策定のためのワークショップ、野添コミセンの組織改革プロジェクトなど、地域の様々な場面で話し合いが充実するようファシリテーターを務めました。

報告書には、それらの内容をまとめています。話し合いを重ねることは、自分たちのまちへの愛情や誇りを創



▲活動報告書

【まちづくりアドバイザーとは】 播磨町では、多様化・複雑化する地域の課題やニーズに、より細かく対応するため、2020年度より「まちづくりアドバイザー」を配置しています。自治会活動やコミュニティ活動、自主的なまちづくり活動について専門的な視点から支援します。

まちづくりアドバイザーがお届けする

まちアド通信

協働推進課住民協働係  
☎ 079-435-2364